

事業番号	15 01 10	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	交通安全教育推進事業費			担当課	部局	警察本部
					課・室	交通企画課
<参考>	プロジェクト			E-mail	police-koutsukikaku@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画	施策の総合的展開	4-2	県民生活の安全確保	実施期間	S35	～
		2	交通安全対策の推進			

1 事業の概要

目指す姿	<p>○ 交通事故発生件数の総量抑制を目指すとともに、悲惨な交通死亡事故を1件でも減少させ、安全で安心な長野県を目指す。</p> <p>○ 幼児から高齢者までの交通社会を構成するあらゆる階層において、対象に応じたきめ細かな交通安全教育を実施していくため、交通関係団体等と協働した活動を推進し、交通安全意識の高揚を図る。</p>	
現状	<p>○ 交通事故死傷者数は、平成14年以降減少傾向にあり、平成23年中は13,376人であったが、未だ1万人を超え高止まりの状態である。</p> <p>○ 児童・高齢者・歩行者等（交通弱者）が犠牲となる交通事故の発生が増加している。</p> <p>○ 高齢者数の増加、高齢ドライバーの増加から、高齢者事故が全事故に占める割合が増加することが推測される。</p>	
県が関与する理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()	<input checked="" type="checkbox"/> 左記の説明、根拠法令等 道路交通法、交通安全対策基本法

事業内容	① 成果目標(H24)				
	○ 交通事故死者を100人以下に抑止する。				
	② 事業内容		(単位:千円)		
	項目	実施方法	H24事業実績		
			(当初)	(決算)	H25(当初)
	1. 地域交通安全活動推進委員による交通安全活動支援	直接	1,366	1,174	1,366
	2. 各対象者に応じた交通安全教育の推進	直接	2,297	1,968	2,321
	3. 交通安全広報啓発活動の推進	負担金	800	800	720
	4. 緊急雇用創出基金活用事業	委託	61,824	49,224	63,298
	5. 緊急雇用創出基金活用事業	委託	0	55,020	
		合計	66,287	108,186	67,705

事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度
	前年度繰越				
	当初予算	6,929	102,891	66,287	67,705
	補正予算	56,585	-16,416	42,420	
	合計(A)	63,514	86,475	108,707	67,705
	国庫支出金	330			
	県債				
	その他(手数料等)	58,796	82,718	106,275	65,326
	一般財源	4,388	3,757	2,432	2,379
	決算額(B)	62,633	85,814	108,186	
概算職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	
概算人件費	83	83	83	83	
概算事業費(B(A)+C)	62,716	85,897	108,269	67,788	

成果目標の達成状況					
項目	現況(見込)	H24			H25目標
		目標	成果	達成状況	
交通事故死者数	H23 115人	100人以下	97人	達成	90人以下
通学路等安全安心サポート事業		登下校時の児童の交通事故の根絶	0件	達成	登下校時の児童の交通事故の根絶

目標に対する成果の状況	県民と協働した各種交通安全教育を推進した結果、交通事故死者が昭和31年以来56年ぶりに100人を下回る(97人)など、交通事故死者数の抑止が図られた。 また、高齢者に対する交通安全教育等を推進した結果、高齢者の交通事故死者は44人(前年比-18人)であり、高齢者対策が図られた。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 交通安全の確保は県民が望む問題であり、特に、高齢者や子どもなどの交通弱者にスポットを当てた安全教育をはじめ、各種交通安全対策を推進する。 各種広報媒体を活用したきめ細かな情報提供を実施するとともに、チャレンジ号等の交通安全機器を活用した体験型の交通安全教育を関係機関・団体と連携を図りながら推進し、交通事故の総量抑制を図る。
---------------------	--